

第28回日本赤十字社診療放射線技師会近畿ブロック研修会開催報告

開催担当病院 神戸赤十字病院
放射線技師長 古東正宜

令和2年2月1日(土)～2月2日(日)の二日間、神戸市内のホテル北野プラザ六甲荘にて第28回日本赤十字社診療放射線技師会近畿ブロック研修会を神戸赤十字病院が担当病院として開催し来賓を含め12施設から78名が参加した。

初日は、開会式後にキヤノンメディカル社のランチョンセミナーを皮切りに若手の登竜門の位置づけとして研究発表会を行い、11演題の発表では活発な質疑応答がなされた。特別講演は、昨年に引き続き安藤英次先生(大阪ハイテクノロジー専門学校)をお招きし「腰椎立位PA半切撮影の有用性」を講演して頂き、本撮影法の有用性を分かり易く熟演され参加者は真剣に聴講していた。講演後は、ホテル内の別会場で情報交換会を行った。

二日目は、当院が数年前から定期的に行っている症例検討会をベースに企画した、「実症例から学ぶ救急患者の画像読影補助」を行った。内容としては、6-7名毎、10班にグループ構成し、4症例(転落外傷・消化器疾患・脳疾患)について各グループ内でバイタルなどの来院前情報を元に臨床画像をPCで閲覧しながら参加者全員で画像読影を行うものである。グループ構成は、前日の情報交換会と同メンバー構成であったために今回が初対面ではなく、参加者は活発に意見交換し画像読影を行っていた。最後は当院と県災害医療センターでIVRを中心に活躍されている木下めぐ美 副部長の「救命医療における大動脈解離の画像診断」をテーマとした教育講演を聴講し、二日間の研修会が終了となった。

今年度の研修会は、研究発表会や救急撮影の画像読影補助などの学術面を重視することとした。これで参加された多数の会員に対して、心より感謝申し上げるとともに本近畿ブロック研修会の開催報告とする。



プログラム

令和2年2月1日(土)

会場：ホテル北野プラザ六甲荘：「マジョラム」

11:30 受付

12:00 開会式

司会 岸本 義幸(神戸赤十字病院)

- 開会挨拶 神戸赤十字病院 放射線科部 技師長 古東 正宜
- 開会施設代表者挨拶 神戸赤十字病院 院長 山下 晴央
- 会長挨拶 日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂
- 主催者挨拶 日本赤十字社診療放射線技師会 近畿ブロック理事 藤原 朗
- オリエンテーション 担当 岸本 義幸(神戸赤十字病院)

12:20 ランチョンセミナー

座長 松田 智史(神戸赤十字病院)

「AI画像再構成技術による高速・高分解能の実現」

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 国内営業本部 MRI 営業部

萩原 友基 先生

— 休憩(10分) —

13:20~15:30 施設代表者会議

会場：ローズマリー西

13:20 一般演題 I (1~4)

座長 福嶋 英人(神戸赤十字病院)

14:05 一般演題 II (5~8)

座長 上江 孝典(神戸赤十字病院)

14:50 一般演題 III (9~11)

座長 小川 宗久(神戸赤十字病院)

— 休憩(10分) —

15:30 特別講演

座長 小野寺 尚(神戸赤十字病院)

「腰椎立位 PA 半切撮影の有用性」

学校法人 大阪滋慶学園大阪ハイテクノロジー専門学校 診療放射線技師学科 専任教員

安藤 英次 先生

17:00 オリエンテーション

担当 辻居 賢一(神戸赤十字病院)

18:00 情報交換会 「レモンバーム」

司会・進行 辻居 賢一(神戸赤十字病院)

令和2年2月2日(日)

会場：ホテル北野プラザ六甲荘：「マジョラム」

9:00 ディスカッション

「実症例から学ぶ救急患者の画像読影補助」

進行・解説 松田 智史・小川 宗久・宮安 孝行(神戸赤十字病院)

— 休憩(10分) —

10:40 教育講演

座長 浅妻 厚 (神戸赤十字病院)

「救命医療における大動脈解離の画像診断～急性期合併症から血管内治療まで～」

兵庫県災害医療センター 放射線科 副部長

木下 めぐ美 先生

12:00 閉会式

司会 新井 純一 (神戸赤十字病院)

● 次回開催施設挨拶

京都第一赤十字病院 放射線科 技師長 加藤 良美

● 閉会挨拶

神戸赤十字病院 放射線科部 技師長 古東 正宜

● 記念撮影

12:30 解散



開催担当:神戸赤十字病院 古東正宜技師長



日本赤十字社診療放射線技師会 安彦 茂会長



ディスカッション:「実症例から学ぶ救急患者の画像読影補助」風景